

# 山行報告(12月 月例会)

しんつくし山岳会

日時	令和3年11月23日(祝日)		天候	雨後曇り、寒い
山域	脊振山域……(陣ノ尾岳(695・7m)～軽井沢)		福岡市最高気温12・1°	
L	森	SL	小	記録
参加者	小長 王丸・乗 上 森		6名	
装備	雨具・コンパス・ヘッドランプ他		食料	日帰り食料
車	小長 王			
行程	西鉄バス那珂川営業所(8:30)——五ヶ山ダムモンベル——脊振ダム入口(9:30～10:00)……ダム登り口(10:26)……陣ノ尾岳(一の岳は間違い)10:50……林道三叉路分岐点(11:35)……板屋林道終点(11:55)……軽井沢(12:15～12:45)……林道三叉路(13:00)……ブナ林・別荘横……板屋林道入口(14:10)……ダム到着(14:25)			
コース説明	<p>今日は今季最低温度と寒い予報が出ていた。脊振ダム入口に着いた時は小雨で雨具を着て出発しました。ダム貯水量は湛水の状態でほぼゼロで今の時期に溜まっていないとは福岡市専用の水道水の目的が成り立たない。昭和51年竣工でロックフィールダム。供用は一日6万5千㎡。有効貯水量439万㎡。一方五ヶ山ダムは満水で放流されている。</p> <p>ダムの景色も霧雨で脊振山が見えない。すぐ板屋林道に入り途中竹屋敷林道入口のフェンスの中に入って行く。伐採された横の九電道を登り、陣ノ岳に着いたが周辺は見晴らしは良くない。一の岳の看板を個人が付けて、国土地理院も一の岳と記載しているのは間違いである。那珂川市の郷土史会が以前から名前の変更を申し入れていた。「話がそれるが一の岳城址が648mで歴史があり鳥栖市の勝尾城主、筑紫広門が天正14(1586)年島津、秋月連合軍千余名と攻防戦で落城し、水の手を断たれたため落城」。山頂から東の山路を下ると亀岩があり、秋の落葉が綺麗で滑りだす始末だ。林道に出ると歩き易く下りをずんずん進む。途中林業者の椅子、テーブルが設置されてまだ新しい。行き止まりから険しい山路にロープが張られて難関の場所だ。少し天気になって軽井沢に着く。広い山林の風景が和ませてくれる。昼食をしていると雨が降り出した。同じ道を引き返し605mの尾根に上がり歩きやすかった。</p> <p>林道の三叉路には伐採されている日田市の河津林業が伐採機械を使って木材が摘まれていた。途中から早良区のライオンズクラブがブナ林を植林している林を通過すると陽だまりの湿地帯を通過してダムに降りてきた。天気は今一つ晴れなかったが16000歩あるいた。</p>			



